

2日
8/4
見てみよう



「東上1区自治会地域づくり」の皆さんに岩屋の滝を案内してもらい、保全活動について話を聞きました。はじめて岩屋の滝を見た子どもたちはきれいな水に触れ、滝の風景を記録しようとカメラのシャッターを押していました。



古墳時代の家族墓であるこのお墓は、町の文化財に指定され、地域の「百六廿年会」の皆さんが保全活動を行っています。現地では百留義信さんから史跡の説明やお盆の提灯飾りの話など活動の様子を聞きました。



古墳時代の豪族のお墓である巨石塚では、「吉岡巨石塚保全グループ」の矢岡勝見さんから話を聞きました。矢岡さんは紙芝居を使って子どもたちに分かりやすく説明してくれました。子どもたちはお墓に入ってみたり上に登ってみたりと巨石塚の大きさを体感していました。



最後に訪れたのは道の駅しんよしとみ。穴田駅長から施設の説明をしてもらい店内を探索。お世話になった出荷者の坪根さんのなすびを発見しました。駅長からは商品が売れる秘訣やお客さんとの接客マナーについて教えてもらいました。



特集

こうげあくあく子ども探検隊



町では、夏休み期間を利用して町内小学校から参加者を募り、町の自然環境や史跡、環境保全や高齢者福祉など各分野で活躍する人たちと出会い、触れ合うことで、自分たちのまちづくりにについて考える「こうげあくあく子ども探検隊」を上毛町社会福祉協議会と共催で開催しました。



認定農業者の坪根利男さんの畑では、農業についての話を聞きました。子どもからの質問も多く、農業後継者が不足していることや野菜をおいしく作るためには「愛情」が必要なことなどを教えてもらいました。話を聞いたあとは畑で実ったなすびを収穫させてもらい、お土産に持って帰りました。



1日
7/29
知ってみよう

新しい友だちと「上毛町」の魅力を見よう

初めて会った子どもたちが早く慣れるように、自己紹介ゲームでスタートした探検隊。名前・学校名・好きな食べ物を書いた「よろしくねカード」を手に、友だちとジャンケンをしていきます。初めはみんな照れくさそうにいましたが、徐々に慣れてきた様子で必要以上に体を動かしてジャンケンをする児童も。主催者の思惑通りレクリエーションで早く友だちと仲良くなれて感謝です。



自己紹介ゲームで「よろしくねカード」を手に、友だちとジャンケン



「アキュラシー」を上毛町身体障害者福祉会の皆さんに教えてもらいました

次にチャレンジしたのはフライングディスク競技「アキュラシー」。アキュラシーはプラスチック製の円盤を投げて、直系1.7mの輪を通すスポーツで、上毛町身体障害者福祉会の皆さんに教えてもらいながら、4班に分かれて得点を競い合いました。子どもたちがチームメイトを励まし、身障会の方を応援している姿がとても印象的でした。

午後からは、企画情報課職員が町の魅力を載せた資源ガイドブック「上毛の宝」を使って、町の自然環境や史跡、おいしい農作物などを紹介しました。また、環境の町への取り組みも住民課職員が紹介し、子どもたちに地球温暖化について考えてもらいました。子どもたちの興味を引くようにと写真をたくさん使った資料は予想以上の威力を発揮。子どもたちから質問攻めにあう一面もありました。



「上毛の宝」を参考に真剣に町の魅力を勉強する子どもたち！



「町の宝」を地域づくり活動の皆さんに教えてもらおう

上毛を担う子どもたちへ



● 4日目
8/29
考えてみよう

上毛を担う子どもたちへ！

未来の上毛町の事を真剣に考えてみました



探検隊を通して見て、聞いて、考えた事をわかりやすくまとめて発表しました。



3日間の体験から学んだことを各班に分かれて意見を出し合い、将来の上毛町について考えました。子どもたちの意見をポストイット(付箋紙)に書いてもらったところ、出てきた意見は想像以上に多くてびっくり。各班にサポート役として参加した役場と社協の職員は子どもたちの貴重な意見を逃さないよう必死に対応しました。まとめ作業でできなかった模造紙の数は25枚にもなり、3日間の成果としては十分すぎるものでした。

まとめた子どもたちの意見は、保護者や手伝ってくれた団体さんの前で発表。緊張していた子どもたちでしたが、体験から感じたことをしっかり発表して4日間の探検隊を終えました。子どもたちは友だちと一緒にやり遂げた達成感で満たされ、笑顔いっぱいでした。



サポート役の職員も子どもたちの発想の新鮮さ、目標の鋭さにびっくり！探検隊の皆さんと一緒に学んだ事の多かった3日間でした。



子どもたちがまとめた模造紙の一部を役場、たいへいの里、西原・西宮高コミュニティセンター、道の駅しんよしとみ、げんきの杜に掲示しています。

● 3日目
8/19
体験してみよう

上毛を担う子どもたちへ！

地元産の食材を取り入れた料理を作ってみよう



「水の量はこれでいいかな？」チームのみんなと仲良く楽しく料理をする探検隊のメンバー！地元産の食材の勉強にもなりました。



3日目は手づくり料理体験を行いました。手伝ってくれたのは食生活改善推進協議会、オーイげんき会、吉岡交流会の皆さん。各班に分かれてお菓子、豆腐、そば作りを行いました。子どもたちはエプロンを身に付けてやる気満々。そば作りではそば粉練り、そば打ち、そば切りと一連の行程をオーイげんき会の皆さんに教えてもらいながら行いました。豆腐作りは吉岡交流会の皆さんに大豆をミキサーにかけて豆乳をしぼるところから教えてもらいました。できあがった豆腐は少しやわらかかったけど、地元産の大豆で作った豆腐なので味は完璧。自分たちで作った料理を子どもたちは大満足の様子で食べていました。



自分たちで打ったそばを慎重に切っていきます。出来映えの良さに思わず笑みがこぼれます。

